

日本の世界遺産

はじめに

今回は、日本の世界遺産 21 件に関わる本を紹介します。昭和 47 年(1972)ユネスコ総会で「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(世界遺産条約)」が採択されました。世界遺産とは「地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物」です。条約は世界遺産を守り、次世代に引き継ぐため国際協力の確立を目的としています。日本が世界遺産条約を批准したのは平成 4 年(1992)です。

[資料リスト](#)

1 知 床

遺産名	知床 【自然遺産】
登録年	2005 年(平成 17 年) 7 月
所在地	北海道斜里郡、目梨郡。
面積	約 4 万 8750 ヘクタール(海域約 2 万 2353 ヘクタール)
概要	世界遺産に登録されたのは知床半島のうち、中央部から先端の知床岬までの陸域と、世界で最も低緯度で海水が氷結する周辺海域です。

2 白神山地

遺産名	白神山地 【自然遺産】
登録年	1993 年(平成 5 年) 12 月
所在地	青森県西津軽郡鰺ヶ沢町・深浦町。同県中津軽郡西目屋村。秋田県山本郡藤里町。
面積	約 1 万 6971 ヘクタール
概要	白神山地は青森県南西部から秋田県北西部に広がり、1,243m の向白神岳を最高峰に 1,000m 級の山々が連なっています。その中心部分に 8,000 年を超える歴史を有するブナの原生林が残っています。

3 平 泉

遺産名	平泉－仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 【文化遺産】
登録年	2011 年(平成 23 年) 6 月
所在地	岩手県平泉町
構成資産	中尊寺、毛越寺、観自在王院跡、無量光院跡、金鶏山
面積	約 6185 ヘクタール

概 要	奥州では、奥州藤原氏が勢力を得て、清衡(?～1128)・基衡(生没年不詳)・秀衡(?～1187)の3代に渡り栄えました。その中心地である平泉に清衡が建てたのが 中尊寺 です。2代基衡が 毛越寺 を、3代秀衡が 無量光院 を建立しています。 観自在王院 は2代基衡の妻が建立したと伝わります。 金鶏山 は中尊寺と毛越寺の中間にあり、頂上の塚に黄金の鶏を埋めたと言う伝承があります。なお、平泉は文治5年(1189)に鎌倉の大軍によって滅ぼされました。
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 日光の社寺

遺産名	日光の社寺 【文化遺産】
登録年	1999年(平成11年)12月
所在地	栃木県日光市
構成資産	二社一寺(東照宮・輪王寺・二荒山神社)及びこれらの建築物群を取り巻く遺跡。
面積	約424.0ヘクタール
概 要	日光東照宮 は徳川家康を祭神とし、元和3年(1617)に徳川秀忠が創建しました。 輪王寺 は天台宗の門跡寺院で、3代将軍家光の霊廟大猷院や三仏堂(本堂)などがあります。 輪王寺 及び 二荒山神社 の創始は、天平神護2年(766)に勝道上人が二荒山麓に三神を祀り、その傍らに創建した四本龍寺と言われます。神道と仏教の融合した神仏習合霊場として発展しました。

5 富岡製糸場

遺産名	富岡製糸場と絹産業遺産群 【文化遺産】
登録年	2014年(平成26年)6月
所在地	群馬県
構成資産	富岡製糸場(富岡市)・田島弥平旧宅(伊勢崎市)・高山社跡(藤岡市)・荒船風穴(下仁田町)。
面積	421.8ヘクタール
概 要	富岡製糸場 は明治5年(1872)に設立された官営模範工場です。明治政府はここで主要輸出品である生糸の品質向上をはかり、大量生産を行いました。明治42年(1909)には世界一の生糸輸出国となり、生糸輸出に伴う獲得外貨は国内の重工業化を進める原動力になりました。なお、製糸場は昭和62年(1987)まで操業しています。 田島弥平 は明治期の蚕種製造家です。通風を重視した養蚕種法である「清涼育」を編み出しました。江戸後期に建てられた家屋は換気システムを備えた画期的な建築です。 高山社 は、明治期の養蚕家高山長五郎が編み出した「清温育」という養蚕法を普及するための施設です。 荒船風穴 は、自然の冷風を利用した養蚕の孵化を管理する貯蔵施設です。孵化を遅らせることで養蚕を年に複数回行いました。

6 国立西洋美術館本館

遺産名	ル・コルビュジエの建築作品－近代化建築運動への顕著な貢献－
登録年	2016年（平成28年）
所在地	東京都
構成資産	国立西洋美術館本館
概要	国立西洋美術館は、明治～大正期の実業家である松方幸次郎が蒐集したコレクションを元に、昭和34年(1959)に誕生した西洋美術専門の美術館です。松方コレクションは太平洋戦争などのため、一部がフランスで保管されていました。フランス政府はこれらの返還・寄贈にあたり美術館の建設を条件にしたのです。その時指名されたのがル・コルビュジエです。

7 小笠原諸島

遺産名	小笠原諸島 自然遺産
登録年	2011年（平成23年）6月
所在地	東京都小笠原村
面積	約7,939ヘクタール
区域	父島・母島の集落を除いた陸域と周辺海域の一部、北硫黄島・南硫黄島・西之島。
概要	小笠原諸島は東京から南に約1000km、大小30余の島々から成り立ちます。一度も大陸と陸続きになったことが無いため、この動植物は島の環境に適応するように独自の進化を遂げてきました。

8 富士山

遺産名	富士山－信仰の対象と芸術の源泉 文化遺産
登録年	2013年（平成25年）6月
所在地	静岡県・山梨県
面積	約70,330ヘクタール
構成資産	1. 富士山域、1-1 山頂の信仰遺跡群、1-2 大宮・村山口登山道、1-3 須山口登山道、1-4 須走口登山道、1-5 吉田口登山道、1-6 北口本宮富士浅間神社、1-7 西湖、1-8 精進湖、1-9 本栖湖。2. 富士山本宮浅間大社（静岡県富士宮市）。3. 山宮浅間神社。4. 村山浅間神社。5. 須山浅間神社。6. 富士浅間神社。7. 河口浅間神社。8. 富士御室浅間神社。9-10 御師住宅（旧外川家・小佐野家）。11. 山中湖。12. 河口湖。13-20 忍野八海（山梨県忍野村）。21. 船津胎内樹型。22. 吉田胎内樹型。23. 人穴富士講遺跡。24. 白糸ノ滝（静岡県富士宮市）。25. 三保松原。
概要	富士山域は、山体及び山頂の信仰遺跡群、北口本宮富士浅間神社、静岡・山梨両県の4つの登山道、西湖、精進湖、本栖湖が含まれます。

概要	富士山本宮浅間大社は全国にある浅間神社の総本宮です。忍野八海は富士山の伏流水による8つの湧水地です。船津胎内樹型は噴火による溶岩が森林地帯に流れ込み木の部分が燃えてしまい、残った空洞が人の胎内を連想させる巨大な溶岩樹形です。白糸の滝は富士山の雪解け水が溶岩壁から湧き出る滝です。三保松原は富士山を望む景勝地です。
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

9 白川郷・五箇山の合掌造り集落

遺産名	白川郷・五箇山の合掌造り集落 文化遺産
登録年	1995年(平成7年)12月
所在地	岐阜県大野郡白川村・富山県南砺市
面積	約4,403ヘクタール
構成資産	白川村萩町集落、南砺市相倉集落・菅沼集落。
概要	<p>岐阜県白川郷の萩町集落は、3集落の中で最も大きく114棟の合掌造り家屋などが保存されています。富山県の五箇山には相倉集落・菅沼集落があり、前者には合掌造りの家屋が20棟、後者には合掌造りの家屋が9棟あります。</p> <p>合掌造りとは掌を合わせたように、巨大な三角形をした茅葺屋根を持つ家屋です。豪雪地帯のため屋根の角度は60度位の急こう配で、雪が滑り落ちやすくなっています。内部は3階から5階になっており、床面積が広く天井が高い構造です。これはこの地方の主産業が養蚕であり、かつては塩硝の生産であったからです。</p>

10 古都京都の文化財

遺産名	古都京都の文化財 文化遺産
登録年	1994年(平成6年)12月
所在地	京都府京都市、宇治市、滋賀県大津市
面積	約4,635ヘクタール
構成資産	賀茂別雷神社(上賀茂神社)、賀茂御祖神社(下鴨神社)、教王護国寺(東寺)、清水寺、延暦寺、醍醐寺、仁和寺、平等院、宇治上神社、高山寺、西芳寺、天龍寺、鹿苑寺(金閣寺)、慈照寺(銀閣寺)、龍安寺、本願寺、二条城。
概要	<p>賀茂御祖神社(下鴨神社)は、天武天皇の6年(677)に社殿が造営されたと言われ、例大祭の「葵祭」が5月15日に行われます。賀茂別雷神社(上賀茂神社)は、天武天皇の7年(678)に社殿が造営されたと言われ、例大祭は5月15日の「葵祭」が有名です。教王護国寺(東寺)は真言宗東寺派の総本山で、桓武天皇の命で延暦15年(796)に建てられました。清水寺は北法相宗の大本山です。延暦寺は天台宗の総本山で、平安時代初期に最澄が開基しました。醍醐寺は真言宗醍醐派の総本山で、醍醐天皇の命で貞観年中(859-877)に創建されまし</p>

<p>た。仁和寺は真言宗御室派の大本山で、仁和 2 年(888)光孝天皇が建立の勅命を出しましたが病に倒れたため、宇多天皇がその志を継ぎました。平等院は初め左大臣源融の別荘で、のち藤原道長の山荘となり、その子頼通が永承 7 年(1052)に仏寺としました。高山寺は真言宗御室派の別格本山で、延暦寺の尊意が開創しました。西芳寺は臨済宗天龍寺派の寺院で、暦応 2 年(1339)夢窓国師が中興したといひます。天龍寺は臨済宗天龍寺派の大本山で、夢窓国師を開山とし足利尊氏が願主となり建立された寺です。鹿苑寺(金閣寺)は臨済宗相国寺派の寺院です。慈照寺(銀閣寺)は臨済宗相国寺派の寺院です。龍安寺は臨済宗妙心寺派の寺院で石庭が有名です。本願寺(西本願寺)は浄土真宗本願寺派の本山です。なお、本願寺は江戸時代初期に東西両本願寺に分裂しました。宇治上神社の本殿は現存する神社建築の中で、最古の建造物とされています。</p>

11 古都奈良の文化財

遺産名	古都奈良の文化財 文化遺産
登録年	1998 年(平成 10 年) 12 月
所在地	奈良県奈良市
面積	約 3,118.4 ヘクタール
構成資産	東大寺、興福寺、春日大社、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡、春日山原始林。
概要	<p>東大寺は華嚴宗の総本山で、全国の国分寺の総国分寺でした。興福寺は法相宗の大本山で、代々藤原氏の氏寺として興隆しました。春日大社は神護景雲 2 年(768)平城京守護のため創建されました。また藤原氏の氏神社でもあります。元興寺は華嚴宗の寺で、蘇我馬子が飛鳥に建立した法興寺が前身です。薬師寺は法相宗三大本山の一つで、天武天皇が皇后の病氣平癒を祈らせ、その平癒を契機に建立されました。唐招提寺は律宗総本山、寺の起源は天平勝宝 8 年(756)に遡ります。平城宮は和銅 3 年(710)から延暦 3 年(784)までの都城。南北 4.8 km、東西 4, 3km です。春日山原始林は春日大社の神域で、承和 8 年(841)から伐採・狩猟が禁じられました。</p>

12 法隆寺地域の仏教建造物

遺産名	法隆寺地域の仏教建造物 文化遺産
登録年	1993 年(平成 5 年) 12 月
所在地	奈良県生駒郡斑鳩町
面積	約 586 ヘクタール
構成資産	法隆寺、法起寺。
概要	<p>法隆寺は聖徳宗の総本山です。この地には法隆寺よりも古い若草伽藍</p>

	<p>と呼ばれる古寺があったといわれ、天智 9 年(670)の火災で一棟残らず焼けてしまった後、再建されたといわれます。</p> <p>法起寺は聖徳宗の寺です。山背大兄王が聖徳太子の岡本宮を寺に改めています。最古といわれる三重塔は天武天皇 13 年(685)に完成しています。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

13 紀伊山地の霊場と参詣道

遺産名	紀伊山地の霊場と参詣道 文化遺産
登録年	2004 年(平成 16 年) 7 月
所在地	三重県、奈良県、和歌山県
面積	約 11,865 ヘクタール
構成資産	<p>【吉野・大峯】吉野山、金峯山寺、吉野水分神社、金峯神社、吉水神社、大峰山寺。</p> <p>【熊野三山】熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社、那智山、青岸渡寺、那智大滝、那智原始林、補陀洛山寺。</p> <p>【高野山】丹生都比売神社、金剛峯寺、慈尊院、丹生官省符神社。</p> <p>【参詣道】大峯奥駈道、熊野参詣道、高野山町石道。</p>
概要	<p>紀伊山地の山中には、「吉野・大峯」「高野山」「熊野三山」の三霊場があり、各霊場は参詣道がつないでいます。「吉野・大峯」は修験道の霊場です。「高野山」は空海を開祖とする真言宗の根本道場です。「熊野三山」は多くの貴族が参詣した神仏習合の霊場です。大峯奥駈道は吉野から熊野本宮大社に至ります。熊野参詣道は大辺路・中辺路・小辺路・伊勢路の 4 つがあります。高野山町石道は慈尊院から高野山へ至り、その先は小辺路につながります。</p>

14 姫路城

遺産名	姫路城 文化遺産
登録年	1993 年(平成 5 年) 12 月
所在地	兵庫県姫路市
面積	約 250 ヘクタール
構成資産	姫路城
概要	<p>城を最初に築城したのは赤松則村の二男貞範です。その後小寺氏、山名氏、小寺氏、黒田氏などが城主となり、天正 8 年(1580)には秀吉が城主となりました。秀吉は堀や石垣を整備し 3 重の天守を築いたといわれています。城を現在のような規模に整備したのは池田輝政です。輝政は慶長 6 年(1601)姫路城に入り、入城と同時に改築を始め慶長 14 年(1609)に一応の完成を見ました。</p>

15 石見銀山遺跡とその文化的景観

遺産名	石見銀山遺跡とその文化的景観	文化遺産
登録年	2007年(平成19年)7月	
所在地	島根県大田市	
面積	約3,663ヘクタール	
構成資産	<p>【銀鉱山跡と鉱山町】 銀山柵内、代官所跡、矢滝城跡、矢筈城跡、石見城跡、大森銀山重要伝統的建造物群保存地区、宮ノ前地区、熊谷家住宅、羅漢寺五百羅漢</p> <p>【街道(石見銀山街道)】 鞆ヶ浦道、温泉津沖泊道</p> <p>【港と港町】 鞆ヶ浦、沖泊、温泉津重要伝統的建造物群保存地区</p>	
概要	<p>石見銀山は、天文2年(1533)神谷寿禎が銀の精錬に成功したといいますが、関ヶ原の戦後は徳川氏領となり大久保長安が奉行になると産出量が激増しました。その後徐々に産出量は減少し、大正12年(1923)休山になりました。</p>	

16 原爆ドーム

遺産名	原爆ドーム	文化遺産
登録年	1996年(平成8年)12月	
所在地	広島県広島市	
面積	約43.1ヘクタール	
構成資産	原爆ドーム	
概要	<p>原爆ドームは大正4年(1915)にチェコの建築家ヤン・レツルによって広島県産業奨励館として建てられました。昭和20年(1945)8月6日に投下された原子爆弾の爆心地の近接地でしたが、完全な倒壊を免れました。</p>	

17 厳島神社

遺産名	厳島神社	文化遺産
登録年	1996年(平成8年)12月	
所在地	広島県廿日市市宮島町	
面積	約3,065.5ヘクタール	
構成資産	厳島神社	
概要	<p>厳島神社は安芸国一宮で、平清盛が安芸守に叙任すると、海上守護神として尊信し、荘厳な社殿を造営しました。現在の主な社殿は仁治2年(1241)に再建されたものです。</p>	

18 明治日本の産業革命遺産

遺産名	明治日本の産業革命遺産	製鉄・製鋼、造船、石炭産業	文化遺産
-----	-------------	---------------	------

登録年	2015年（平成27年）7月
所在地	山口県萩市、福岡県大牟田市・北九州市・中間市、佐賀県佐賀市、長崎県長崎市、熊本県荒尾市・宇城市、鹿児島県鹿児島市、岩手県釜石市・静岡県伊豆の国市。
構成資産	<p>【萩：萩の産業化初期の時代の遺産群】萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾</p> <p>【鹿児島：集成館】旧集成館反射炉跡、旧集成館機械工場、旧鹿児島紡績所技師館、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝</p> <p>【三池：三池炭鉱・三池港】三池炭鉱宮原坑、同万田坑、同専用鉄道敷跡、三池港。【三池：三池西港】三角西（旧）港</p> <p>【八幡：八幡製鉄所】八幡製鉄所旧本事務所、同修繕工場、同鍛冶工場、同遠賀川水源地ポンプ室。</p> <p>【佐賀：三重津海軍所跡】三重津海軍所跡</p> <p>【長崎：長崎造船所】小菅修船場跡、長崎造船所第三船渠、同ジャイアントクレーン、同旧木型場、同占勝閣。【長崎：高島炭鉱】高島炭鉱、端島炭鉱。【長崎：旧グラバー住宅】旧グラバー住宅</p> <p>【葦山】葦山反射炉</p> <p>【釜石：橋野鉄鉱山】橋野高炉跡及び関連遺跡</p>
概要	<p>欧米諸国のアジア進出に危機感を募らせた薩摩藩は、武力を備え国力の充実を図るため、嘉永4年(1851)日本初の近代的工場群である集成館を造ります。これが蒸気機関を使用した近代機械工業の普及につながります。明治中期には、高島炭鉱・端島炭鉱・三池炭鉱で蒸気機関を動かす石炭の増産が始まり、石炭運搬の港・鉄道ができました。明治37年(1904)の日露戦争開戦で、鉄鋼需要が高まり官営八幡製鉄所が本稼働しました。</p>

19 屋久島

遺産名	屋久島 自然遺産
登録年	1993年（平成5年）12月
所在地	鹿児島県熊毛郡屋久島町
面積	約10,747ヘクタール
概要	<p>ほぼ円形の屋久島は周囲約130km、島の中央には九州の最高峰である標高1936mの宮之浦岳がそびえています。島の気候は低地は亜熱帯気候で、高地になると冷温帯～亜寒帯に属します。そのため島の急峻な地形は、九州から北海道までの植生が垂直分布しています。</p>

20 琉球王国のグスク及び関連遺跡群

遺産名	琉球王国のグスク及び関連遺産群 文化遺産
登録年	2000年（平成12年）12月
所在地	沖縄県

面積	約 614.6 ヘクタール
構成資産	今帰仁城跡、座喜味城跡、中城城跡、勝連城跡、首里城跡、玉陵、識名園、園比屋武御嶽石門、斎場御嶽
概要	12 世紀以降沖縄では集落ごとに按司(豪族)がグスク(城)を築き覇権を争いました。14 世紀になると北山・中山・南山の 3 勢力にまとまり、永享元年(1429)には中山の尚巴志が国を統一し、琉球王国が成立しました。琉球王国は明治 12 年(1879)に沖縄県になりました。

21 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺跡群

遺産名	『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群	文化遺産
登録年	2017 年(平成 29 年) 7 月	
所在地	福岡県	
構成資産	宗像大社の沖津宮である沖ノ島(天狗岩、御門柱、小屋島を含む)、大島の中津宮、本土の辺津宮、大島北岸から沖ノ島を望む沖津宮遥拝所、豪族宗像氏の墳墓群とされる新原・奴山古墳群。	
概要	沖ノ島は福岡県の沖合約 60 km の玄界灘にあります。最高所は標高 243m の一ノ岳で、島全体が宗像大社のご神体です。女人禁制で男性も年一度の現地大祭に約 200 人が入島できるのみで、一木一草一石たりとも持ち出し禁止です。	

【参考文献】

- 『古寺名刹辞典』金岡秀友著 東京堂出版 昭和 45 年
- 『神社辞典』白井永二・土岐昌訓編 東京堂出版 昭和 54 年
- 『日本の世界遺産完全ガイド』ぴあ(株) 平成 24 年
- 『日本の世界遺産めぐり』昭文社 平成 27 年
- 『読売新聞』平成 29 年 7 月 10 日(月曜日)朝刊

